

# 平成31年度 各教科等の指導の重点(個人用)～日々の授業改善のために～

学習指導要領で求められている資質・能力を児童生徒が身に付けていくためには、日々の授業改善と家庭学習の充実が不可欠です。そのために、今年度特に考えていただきたいことを「指導の重点(個人用)」としてまとめました。

## 1 単元の目標(めあて・ねらい)を明確にした授業を進めていますか？

新学習指導要領では、すべての教科等の学力論が右図のような資質・能力の3つの柱で表現されています。

今回の改訂では、まず、これからの社会を主体者として創造していく子どもたちに育成を目指す資質・能力について検討がなされました。ここから、「社会に開かれた教育課程」という基本理念、また、育成を目指す「資質・能力の3つの柱」という学力論を基礎付ける枠組みが導かれています。育成を目指す資質・能力を明確にし、従来型の教科等別に進める学びに加えて、各教科等の学びを相互に比較したり関連付けたりする学び、つまり教科等横断的な視点での学びが求められることとなります。

県学力調査等の結果から、以前、課題とされていた「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていると思う」に肯定的な回答をした児童生徒の割合は大きく伸び改善されたことがわかります。各校において、それぞれの授業で目標を意識した授業改善が行われています。

今後は、単元全体を構想し単元全体の目標を明確にしていくことが必要です。学校の教育目標や自校の児童生徒に育成したい資質・能力と、単元の目標を関連付けることが、各教科等の目標の達成のみならず教科等横断的な視点に立った教育を広い視野から見つめ直すきっかけになります。

日々の授業準備に追われ、長いスパンで児童生徒の育成を考えるとおろそかになってはいけません。育成したい資質・能力と関連付けながら単元の目標を明確にし、単元全体を構想していくことがこれまで以上に重視されなければなりません。



## 2 学力調査の自校分析結果等を生かし、授業改善に役立てていますか？

全国学力・学習状況調査や島根県学力調査は、実施学年や教科は限られていますが、学校全体の指導の改善に生かしていくことが大切です。高学年の課題であるとか、数学科の問題だというような認識ではなく、これまでの学校での指導の一端が各種調査の結果に表れているととらえて、学校全体で組織的に授業改善に取り組んでいく必要があります。

「小数の引き算を練習させよう」「ローマ字の復習をしよう」というような改善だけでなく、「割合や比の意味理解が進む授業の工夫はどうあるべきか」「複数の文章について読み取ったことをもとに、比較して考えたり、まとめたり、表現する力を育成するような授業づくりを進めよう」「複数の領域を統合して活用する力を育成するような授業を進めるためにできることは何か」というような授業改善につながる話し合いが各校で行われることが望まれます。

高等学校においても、島根の小・中学生の学習指導上の課題がどこにあるのかに関心をもってください、各校での指導に生かしていただければ幸いです。(教育指導課のHPに結果を掲載しています)

自校の子どもたちがどのような「問い」に向き合ったのかをきちんと理解し、それぞれの児童生徒の誤答分析をすることで、重点的に指導しなければならない課題や授業改善の方向性が、明確に浮かび上がってきます。分析結果をそれぞれの授業改善に生かしていくことが、学校全体の教育活動のPDCAサイクルを回していくことにつながります。

## 3 新学習指導要領の先行実施及び移行措置を意識した授業づくりを行っていますか？

新学習指導要領の全面実施は、小学校が2020年度から、中学校が2021年度から全面実施、高等学校が2022年度から年次進行で実施となります。小・中学校においては、すでに先行して実施されるものもあります。新学習指導要領に基づいた教育活動に確実に取り組む必要がありますので、リーフレット「明日を担う島根の子どもたちのために」等を使って新学習指導要領の理解を深めていくことが大切です。

また、新学習指導要領の全面実施までに、各教科等で移行措置に留意する必要があります。ある単元や題材などが未学習にならないように、移行措置について把握しなければなりません。県教育委員会では、「小学校・中学校教育課程の編成・実施の手引-Q&A-(移行措置編)」をまとめ、教育用ポータルサイト及びしまねの教育情報Web(EIOS)に掲載しています。小・中学校の各教科等の移行措置について、漏らさず記載していますので必ず確認しましょう。(高等学校については、H30.9.13島教指第679号にて通知済み)

新学習指導要領の全面実施に向けて、各校のすべての教職員で「自校の児童生徒に身に付けさせたい資質・能力」について話し合うことから、新学習指導要領への対応を進めることが望まれます。